逃げずに 信じて 協力 感謝
10月
2026年度
西神吉小だより
加古川市立 西神吉小学校
学校通信
No.１０１

～ ５年『かこがわ食材支援事業』 ～

「かこがわ食材支援事業」は、加古川市農林水産課の取組で、加古川市内の小学生（主に５・６年生のうち１学年）を対象に、地元産食材の魅力を伝える事業です。調理実習で加古川産食材を使う際の食材確保や、事前の食育授業にかかる費用を市が負担し、食材の配達や事前授業の講師派遣は市内のＪＡが担当します。令和７年度は市内２３校で実施され、本校でも毎年５年生が、社会科での農業についての学びを深めるため、加古川市の食材について学んだり、ごはんや味噌汁などを作ったりしました。

今年度も１０月８日（木）の６時間目に、外部講師をお招きし、５年生が農業について学習をしました。加古川市における農作物の特産物について、クイズを交えながら、分かりやすく、楽しく教えてくださいました。翌週の１５日（木）には、米やみそ、豆腐、ねぎなどの加古川産食材が届き、クラスごとに調理実習をしました。まだまだ危なっかしいところもありますが、けがをしないように、米を炊き、真剣に包丁を握って食材を切り、みそ汁を作る姿は、見ていて感心しました。

５年生のみなさん、加古川産食材を使って、自分たちの力で作ったご飯とみそ汁、ゆでたまごのお味はいかがでしたか。きっと、美味しかったに違いありません。目の前に迫っている自然学校でも、みんなで調理をする機会がたくさんあります。「美味しい！」がたくさんの自然学校にしましょうね。

最後に、加古川市農林水産課の皆様、食材を用意してくださったＪＡの皆様、食材を提供してくださった農家の皆様に感謝申しあげます。貴重な学習、体験をありがとうございました。

西神吉っ子の一コマ










まずは講師の方から農業について学びました










美味しいごはんとみそ汁ができました！！





